
甘いキス

紅満 紗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

甘いキス

【NNコード】

N4543

【作者名】

紅満 紗

【あらすじ】

2人だけの、淡い秘密の恋なんだ…

あたしの彼氏は「銀魂高校」って所の国語担当教師
学校こそ違うけど 友達の伝えでいつの間にかカレカノと呼ばれる
ようになたあたし達

勿論、秘密の恋であることに変わりはない
だつて… まずいっしょ？

いくら学校違うからって あたしみたいな一般高校生と教師つて…
だから、秘密の恋

二人だけの、淡い秘密の恋なんだ…

「銀八！…」

いつもの待ち合わせ

それは放課後、裏昇降口の前での短い待ち合わせ

「おー桃 早かつたな」

「うん！今日はHRが早く終わったの」

「そつかんじや、久々に飯でも食いに行くか？」

「え…いいの？！」

「おーよ 銀さん給料入ったばっかりだしい？ 桃も頑張ってるしな」

「えへへ やつた」

いつもなら仕事やら金欠やらでろくにデートも行けないから
いつ言つまんとに時々のデートはいつも倍嬉しい…！

「ど」「行きでH？」

「うーん… そうだな 豪華にイタリアンとか…」

「やつぱりには王道で甘味だよな

「え…？」

「どうなか…？」

「桃も甘いもん食いてーだろ？」

「うん！」

甘いものは勿論好きだけど

何より桃は銀ハと一緒にいたいよ…

「んじゃ、もう少し待つてお 仕事終わらせてくれつか」

「うん 待つてる」

そつ言い残して行った銀ハの大きな背中を見送る

…もう1時間くらい経ったかな…？

銀八遅いよ…

なんか外が寒くなってきたし…

しゃがみ込んでいるとポケットに入っていたケータイの震えがメールを知らってくれる

件名は銀八。

本文はー…

『うしろ』

うしろー…？

慌てて振り返るとそこには木にもたれかかり立っている銀八の姿
あたしに気が付いた銀八は、やる気のなそうな笑顔で手をひらひ
ら振つてみせる

「銀八、お仕事は？」

「銀さん可愛い桃ちゃんのためにマッハで終わらせておきましたあー

銀八の少しふざけた口調に「くすり」と笑がこぼれる

「もう… 銀八つてば」

でも…寂しかったよ

1時間も一人で

なんとなく、銀さんの腕に自分の腕を絡める
すると銀さんは一瞬あたしの腕を振り払う

でも寂しいなんて思わせず

そつと肩を抱き寄せてくれる

「あつたかい」

「だな」

「銀八」

「ん？」

こんなに抱きしめられたら
気持ちが抑えられないよ…

「大好き」

「桃」

「ん？」

声を出す前に、唇が触れる
チコつて 触れるだけのキス

すぐに唇が離れて 顔がりんごみたいに真っ赤になる

「お前 可愛かぎ」

「…つ」

「ほんと、反則的だよな」

やつこひ銀さんと顔を見つめ合わせて

二人で微笑んだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4543j/>

甘いキス

2010年10月21日23時00分発行